

## 平成28年度「巡回監査士研修」の全日程を終了しました！

## 研修のねらい

- (1) 書面添付推進の必要性を認識し、かつ自己の行動基準が自覚でき、実践できること
- (2) 会計事務所における職員の上位者としての実務能力(監査、指導能力)を修得すること

## 研修の対象者

- ① 現行の巡回監査補(旧中級職員実務試験)合格者
- ② 実務経験5年以上の事務スタッフ
- ③ 中級職員実務試験合格者と同等以上の能力があるスタッフ  
のいずれかに該当し所長が推薦した職員

## 研修の概要

時間はいずれも10:00~17:00(職業倫理のみ10:00~13:00)

科目	月	日	曜	参加者数 (うち都心会)	会場	講師	研修内容
巡回監査Ⅰ 巡回監査	7	21	木	23(1)	TKC 東京本社 2F研修室	並木 知紀 (西東京 山梨会)	1. 巡回監査 2. 書面添付 3. TKCの創業と事業目的 4. 税理士事務所用システム 5. TKCの関与先企業用システム 6. 記帳適時性証明書
巡回監査Ⅰ 職業倫理	7	27	水	27(2)		高木 容子 (城北東京会)	1. TKC創設とTKC全国会結成 2. TKC理念 3. TKC会計人の行動基準書 4. 税理士の法律家としての地位とその責任
巡回監査Ⅱ 企業会計	8	17	水	22(1)		山岸 崇裕 (東京都心会)	1. 損益会計 2. 資産会計 3. 負債会計 4. 純資産会計 5. 中小企業会計要領
巡回監査Ⅱ 経営助言	9	6	火	25(1)		小川 裕平 (東京中央会)	1. 変動損益計算書 2. 財務分析 3. 資金繰り 4. 経営計画
法人税法Ⅰ Ⅱ Ⅲ	6	14 22 28	火 水 火	132(38) 122(34) 121(35)	TKC 東京本社 3F研修室 7/12のみ TKP市ヶ谷	田中浩太郎 (大原簿記)	法人税申告実務の最も基本である、普通法人における「各事業年度の所得に対する法人税」の申告に関する別表の流れを確認するとともに、日々の業務における基本的な個別事案についての考え方を解説します。
消費税法Ⅰ Ⅱ	7	6 12	水 火	119(33) 113(31)		原 康史 (大原簿記)	消費税では、巡回監査においてとても重要な課税区分や、簡易課税の事業区分についてわかりやすい事例を用いて解説します。さらに、税額計算や届出書の記載方法についてもポイントを交えながら確認します。
所得税法Ⅰ Ⅱ Ⅲ	7 8	20 26 2	水 火 火	127(35) 117(36) 108(35)		金井 毅 (大原簿記)	巡回監査に役立つ税務知識を、基本的な所得税の取扱いを中心に例題集の問題及び実務事例をふまえて解説します。
相続税法Ⅰ Ⅱ	8 8	16 23	火 火	116(35) 107(31)		里 幸明 (大原簿記)	相続人の判定から納付税額の計算までの基本的な流れ、贈与税に関する各種特例規定、宅地や株式などの評価方法など重要論点を中心に確認していきます。
全国統一試験日					11月2日(水)(申込締切10/26)		



山岸 崇裕 会員  
(東京都心会)

- (1) 「巡回監査士」資格は、公益社団法人 全日本能率連盟の登録資格です。  
[全能連HP <http://www.zen-noh-ren.or.jp/>]
- (2) 「巡回監査士」の登録要件は、「巡回監査士試験合格者であること」です。  
職員様だけでなく巡回監査士試験に合格された所長先生、Ⅲ型(法人社員型)会員も対象です。

